



避難訓練終了後、まとめとして避難訓練の振り返りをワールドカフェ方式で行い、参加された高齢者施設職員、民生委員児童委員、役場職員、オブザーバーごとに分かれ、それぞれに感じたこと、地域の強みを共有し、更にはそれぞれの組織で取り組むべき課題について話し合い、最後に後藤先生より講評いただき終了しました。



～参加者の声～

- 今まで身近に災害を経験した事がなかったので、今日の講義で色々な事に関心を持った。
- 全体を通して、災害時の想定的重要性と自分達の用意不足を感じて参考になった。
- 実際に訓練として動いてみて、初めて気づくことがあったので、これからも定期的に訓練していくことも良いと思った。
- まだまだ自分事として災害について考えが足りていなかったと感じた。
- 災害が起きた時に今の計画で本当に動けるのか心配になった。
- 避難者は患者ではないという視点に目から鱗。
- 入所ではなく、生活を継続することと、その人がADLを低下させず、最後は日常に戻ることが重要であることを再確認させられた。
- 日頃から顔の見える関係づくり地域づくりが重要であり、地元とのつながりを活かした内容で、計画や災害に備える活動が重要である。

必要になった時 ご相談ください



福祉機器

村内在住で在宅介護されている方に福祉機器を無償で貸し出しています。

*介護用ベッド(手動式タイプ) *車椅子(子供用もごさいます)

- ◆貸し出し期限はございません。必要な期間ご使用ください。
- ◆なお、長期入院入所などの場合は一度返却をお願いいたします。

福祉車両

村内在住で在宅介護されているご家族の方に福祉車両を貸し出しています。

- ◆使用料…無料
- ◆ガソリン代…自己負担
- ◆ご利用回数…原則月2回まで、1回のご利用について2日以内
- ◆お申込期間…利用される日の1ヶ月前から5日前までをお願い致します。
- ◆ご利用にあたり、入所施設からの通院はご利用できませんのでご注意ください。

※福祉機器の貸し出しは社会福祉協議会の会員様(社協会費納入の方)限定とさせていただきます。
社協会費とは、各区自治会長様のご協力のもと年間1,000円を納入している会費です。